

パネル講演会

日本と東アジアの《男らしさ》再考～男のシェア！ケア！フェア！

笹川平和財団では、日本、ソウル、台北、上海、香港の男性を対象としたアンケート調査を行いました。そこから、男性に求められる役割が変化するなか、変化に適応しつつも男性としてのアイデンティティや権威を保とうとする、「男性たちの（半ば無意識的な）適応戦略」が見えてきました。《男らしく》家事や育児をする男性とは？男女共同参画社会の進展に与える影響は？

パネル講演会には、調査研究メンバーであり男性学・男性性研究や父親研究の第一線で活躍しておられる以下の先生方をお招きし、《男らしさ》を再考します。

日時

2019年

7月26日 金 17:00 - 18:30 (16:30受付開始)

会場

笹川平和財団ビル11階 国際会議場

東京都港区虎ノ門1-15-16

東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 4番出口から徒歩3分

定員

200名〔先着順〕参加費無料 ※日英同時通訳有 

パネリスト紹介



多賀 太 関西大学 文学部 教育文化専修 教授

1999年「男性のジェンダー形成に関する研究」で博士号取得（九州大学）。元大阪市男女共同参画審議会会長。現在、（一社）ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表、（独）国立女性教育会館運営委員、（特非）デートDV防止全国ネットワーク理事。主な著書に『男らしさの社会学』『男性の非暴力宣言』『男子問題の時代？』など。



伊藤 公雄 京都産業大学 現代社会学部 客員 教授

大阪大学人間科学部教授を経て、京都大学文学研究科教授。2017年に定年退任し、現職。内閣府男女共同参画会議基本問題調査専門委員会委員、京都府・大阪府・滋賀県男女共同参画審議会会長などを歴任。日本学術会議会員、（独）国立女性教育会館監事、（一社）ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表も務める。



石井クンツ昌子 お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 教授

1987年ワシントン州立大学社会学部博士号取得。1987-2006年カリフォルニア大学リバーサイド校社会学部助・准教授。現在、お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授。全米家族関係学会（National Council on Family Relations）Jan Trost賞受賞（2012年）。日本家族社会学会会長、日本学術会議連携会員、福井県男女共同参画審議会会長など。主な研究課題は父親の育児、子育て、家事。

◆プログラム◆

17:00-17:10

オープニング

17:10-18:00

第一部：パネル・ディスカッション

18:00-18:30

第二部：質疑応答

18:30

閉会

パネル講演会

日本と東アジアの《男らしさ》再考～男のシェア！ケア！フェア！【FAX用申込書】

【日時：2019年 7月26日（金） 17:00-18:30 会場：笹川平和財団11階 国際会議場】

フリガナ

ご芳名

(姓)

(名)

組織名

部署名

役職名

メールアドレス

電話番号

ご所属（該当するものに✓を入れてください）

☐ 非営利組織

☐ 大学・研究機関

☐ メディア

☐ 一般企業

☐ 大使館

☐ 国際機関

☐ 個人

☐ 学生

☐ 公官庁

☐ 国会議員（秘書）

WEB

笹川平和財団 ウェブサイト

<https://www.spf.org/seminar/list/20190726.html>



FAX

03-5157-5158（笹川平和財団 アジア事業グループ）

お問い合わせ

笹川平和財団 アジア事業グループ

TEL：03-5157-5136（植田） Email: asia-integration@spf.or.jp

お申込みは **7月24日（水）17:00までに** 上記笹川平和財団ウェブサイトまたはFAXでお申込み下さい。

定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。なお、お申込みの際に皆様からいただく個人情報は、当財団の主催または後援によるセミナー、講演会等へご案内する際に使用させていただきます。